



上場会社
代表者
コード番号
上場取引
問合せ先

瀧上工業株式会社
代表取締役社長 瀧上品義
5918
東証・名証(第2部)
取締役兼執行役員
管理本部長 山本敏哉
(電話番号 0569-89-2101)

中期経営計画について

1 中期経営計画策定の経緯

近年、当社を取り巻く事業環境は、極めて不透明で、経営目標の中期的予測が困難なことから、平成21年度以降は単年度の経営計画を立案してきました。

しかしながら、今後重要性の増す保全・補修工事への取組みや海外市場を視野に入れた事業等について、経営方針や事業の方向性を示すことが重要との観点から、平成24年度を初年度とする中期3ヵ年経営計画を策定いたしました。

また、当社は平成24年3月に本社組織を主力工場の半田工場に移し、新たにスタートしました。これを機会に営業・技術・生産の連携をより一層強化し、業績の回復を目指したいと考えております。

2 基本方針と事業内容

当社は、「長年にわたるゆるぎない品質の確かさで顧客との信頼関係を築く」を経営理念として掲げ、橋梁、鉄骨事業において安全施工と品質確保を基本方針として、社会資本整備に貢献してきました。

新たな中期経営計画(平成24年4月～平成27年3月)においては、上記の方針に沿い、グループ関連会社との連携を強化し、業績回復を目指してまいります。その概要は以下の通りです。

(1) 橋梁事業

新設橋梁事業を取り巻く厳しい環境に対処し、安定的受注と収益の確保を図るため、下記施策を実施する。

- ①入札結果の徹底した分析により、積算精度の向上及び技術提案力の強化を図り、震災復興に伴うインフラ整備も視野に入れて、平成26年度までに新設橋梁の受注量12,000t、受注高85億円を目指す。
- ②省力化に向けての設備導入計画及び工場の最適レイアウト計画を推進し、生産性の向上を図る。
- ③技能を含む「モノづくり技術」の伝承と社内技術者の多能工化を進め、競争力の強化を図る。

(2) 鉄骨・鉄構事業

鉄骨事業は競争激化による単価の下落など厳しい事業環境に対応するため、下記施策を実施する。

- ①グループ関連会社と連携し、コスト競争力の強化を図るとともに、幅広い鋼構造物への取組みを進め、平成26年度の受注量10,000t、受注高18億円を目指す。
- ②鉄骨、鉄構に対応する設備、人員体制を構築するとともに、営業と工場の連携を密にすることにより、顧客ニーズを共有化する。

(3) 保全事業

橋梁の保全事業は、蓄積された社会資本を健全に維持するために欠かせない事業であり、市場拡大が見込まれることから、グループ関連会社と連携して事業展開を図る。

- ①補修工事に対する技術的特徴を明確にして、既設橋梁の補修・補強、長寿命化等の事業に取り組む。
- ②防災に対する対策事業並びに独自の商品や工法の開発を推進し、実用化に向けて展開する。

(4) 海外事業

経済発展の著しいアジア市場の社会資本整備に貢献するため、ベトナムにおける合弁会社と連携し、海外事業展開を拡大する。

(5) その他事業

公共事業縮小の流れの中で、不動産賃貸事業に加えて、第三、第四の柱となる新規事業分野への参入を視野に入れてチャレンジし、事業環境の変化に対応する。

3 業績見通しと目標

グループ関連会社を含めた売上高は、最終年度(平成26年度)において、130億円を目指してまいります。事業別の売上高としては、橋梁事業で80億円、鉄骨・鉄構事業で16億円、保全事業で21億円、海外事業で7億円、不動産賃貸を含むその他事業で6億円を見込んでおります。また、最終年度における売上高営業利益率2%を目標として、その実現に向けてグループの総力を挙げて計画を推進していく所存です。

以上